

やまうちで どんなに? ④

猪鼻地先に「四季彩とやまびこの郷 やまうち」と書かれた立派な立て看板があります。山内小に着任した私は4月からその看板が大変気になっていました。誰が考えたフレーズだろう、とても良い響きだなあ、と。「四季彩」って、山内を包む自然の四季折々の美しい変化のことでしょうか。4月、新しい学年の始まりを祝福するかのように学校周辺の桜が一斉に咲きました。春の柔らかい日差しが青空に浮かぶように咲く桜の花びらを通して新入生や私たち一人ひとりに降り注ぎました。その桜の木



小谷 茂
山内小学校校長

の下でお花見給食を楽しみました。先輩の方々のおかげで春の自然を満喫でき感動しました。そして、新緑の輝き、山あいを流れる川のせせらぎ、黒川地域を悠々と飛ぶトンビ、春から初夏にいただいた感動です。

3年生が社会科学習のまち探検で猪鼻方面へ出かけた日のこと。「やまびこ」が気になっていた私は、歩道が田村川と並走するようになるところで山あいに向かって「ヤッホー」と叫んでみました。するとどうでしょう、「ヤッホー」と返ってくるではありませんか。

やまびこが聞こえるんだと心躍らせました。

「郷」って、そこに住む人々の生活や人々の温かさ、歴史をも感じられることは。山内の方々は、学校に対し、ことある毎に温かい言葉をかけてくださったり、雑草が大変だからと草刈りをしてくださったり、本当にありがたく思っています。山内の方々に感謝です。

私は今、立て看板の言葉を少しずつ実感しながら勤めさせていただき、日々感謝です。



シリーズ 人権の窓

人権を大切にすることって どういうこと?

ある日、インターネットを見ていたら「感涙必至!」という言葉に出会った。気になったので、その言葉をクリックしそのサイトに飛んだ。そこには『僕を支えた母の言葉』という、物語が動画(YouTube)として紹介されていた。本作は、2008年秋にYouTubeにアップされ、2014年7月現在で366万回を超える再生数を誇るムービーである。2010年には書籍化もされている。

親による子どもの虐待や殺人など凶悪事件が多発し、親子の人間関係が崩壊していると言われる現代。そんな時代において、本作が366万回以上も再生され共感を読んでいることは現代の一つの“救い”ではないのか。

また、人権の視点で考えると、この物語こそが“人権を大切にすることこ

と”の原点ではないか。『大丈夫 おまえは素晴らしいんだから』という言葉で育てられた母子の一人親家庭で育った少年、学校の成績も良いとは言えず、非行に走った時期もあった。高校も肌が合わず中退、社会に出て働き、なかなか仕事を覚えられなくて怒鳴られた。そんな時も母の言葉『大丈夫 おまえは素晴らしいんだから』に助けられる。しかし、突然訪れる母の死、さらに母が生みの親ではないことを知る。溢れ出



る母への感謝…

月日は流れ、35歳になった僕から母へのメッセージでしめくられる。その中で、「規模は小さいけど小さな会社をやっている、社員たちに心をこめて、きみは素晴らしいって言葉を伝えている」とのこと。母の言葉に支えられ、素晴らしい人へと成長したことを見せたかった僕。心のこもった母へのメッセージである。

ぜひ一度ご覧ください。人権を大切にすることってことではないでしょうか。困り顔の人を笑顔にできるようにつながり社会を築いていけるといいですね。

(文責：角出)

角出好隆先生 (山内小学校教諭)

※角出先生は本年4月より山内小に赴任されましたが、昨年までは甲賀市の人権推進課で、人権教育に永年取り組まれておられました。

快晴やまうち Vol.9

2014 (平成26) 年8月1日

発行：山内自治振興会
編集：山内夢づくり部会報班
事務局：滋賀県甲賀市土山町黒川1970
有線：54-0379
I.P. 050-5833-0379
FAX.050-5833-0379
E-mail:yamauchi11@kouka.ne.jp

山内自治振興会



情緒豊かな四季彩の郷やまうち情報紙

快晴やまうち

Vol.9

2014.8.1

発行
山内自治振興会

山内自治振興会報 平成26年度前期

甲南「宮地区自治振興会」との 交流会開催



6月24日に第2次中期3ヵ年計画の新規事業である、市内で先進的に活動されている宮地区自治振興会との交流会を開催しました。

初めに、両振興会の平成25年度の事業概要の説明をし、その後意見交換を行ないました。その中で、

この宮地区は昔から重粘土質という特殊な土壌で、農業の困難さを克服するためには、いかに辛抱強さや協調性が必要であったか等のお話を伺いました。

「滋賀の宮村」復刻版によると、宮

地区は昭和初頭の恐慌による農村不況の中、全国に先駆け、経済更正運動の指定村となりました。そして、村民の総力を結集し、地域の実態に即した農業の多角経営、産業と教育を結合させた「人づくり」運動に取り組んだ結果、模範村・自

力更正の村として全国に知れ渡ることになりました。

このように伝統的に地方自治の熱心な地域である宮地区自治振興会と、お互いに切磋琢磨を目的に1年目は三役・2年目は理事・3年目はわくわくフェアと文化祭での交流会を3年計画で進めていきたいと考えています。

意見交換終了後、甲南フロンティアパーク上野川にある宮ベリー、油日神社を案内していただき有意義な一日となりました。(会長 馬場)



宮へり栽培ハウス

地域福祉部 “高齢者見守り支援事業”先進地視察研修 つながりツアー for 高島

高齢化率が34.4%を超えた山内では、今ある地縁・血縁関係を大切にして、強める仕組みづくりが大切です。そこで、県内で見守り活動の先進地である「高島」に、7月8日民生児童委員、福祉推進員、認知症キャラバンメイトを中心に、総勢21名が学びに行ってきました。

コーディネーターであり仕掛け人でもある高島社会福祉協議会、杉本学士さんより高島の小地域での取り組みの講義を受けました。

高齢化率 30.0%、6つの中学校区



を持つ高島市。特徴として

- ①内容は集落ごとにオーダーメイド
- ②「見守り会議」で住民×専門職が協働
- ③重層的な見守りの仕組みづくり
集落ごとの定例見守り会議、ワン

コインカフェ、70歳以上が実施する高齢者見守り隊等を紹介して、認知症予防の効果を示しながら、高齢者自身(元気なら)や子どもたちも担い手になっていることは、参考にできることでした。

要は、役員だけがするのでなく、みんなで相談し合う事、ボランティアとしてやりたい人がやる形も地域が認めていくこと、「自然に助け合い、見守れる関係作り」を目指していかなければならないことを実感しました。(地域福祉部会長 竜王)

編集後記

「ごきげよう!」なんてすてきな言葉でしょう。「花子とアン」のファンとしては、この言葉を聞くたびにほっこりと心が和んできます。相手を尊重するすばらしい言葉だと思います。もう一つの私の好きな言葉があります。「おかげさん!」です。みなさんのおかげで今の自分があると思うと何事にも感謝の念が湧いてきます。自然と笑顔になれる言葉です。

ありがとうございます。おかげさんでこの広報も無事発行させていただきます。ごきげんよう。(広報班 土山)

四季彩の里若者育成事業

ありがとう山内の皆さん 勇さんおかえりなさいライブ実現!!



さんの熱いトーク&ライブが実現し、お年寄りから若者、子ども達、総勢約80人が六友館に集まりました。すてきな歌に、手拍子あり、笑いありのトーク&ライブを聞き、会場内は拍手がなりやみませんでした。

5月24日(土)午後6時から六友館にBBCびわ湖放送「勇さんのびわ湖カンパニー」でおなじみの川本勇さんが、びわカンのはしかさん(川西出身)と共に山内にやってきました。

昨年山内小学校140周年記念イベントのゲストでもあった川本勇

さんの熱いトーク&ライブが実現し、お年寄りから若者、子ども達、総勢約80人が六友館に集まりました。すてきな歌に、手拍子あり、笑いありのトーク&ライブを聞き、会場内は拍手がなりやみませんでした。

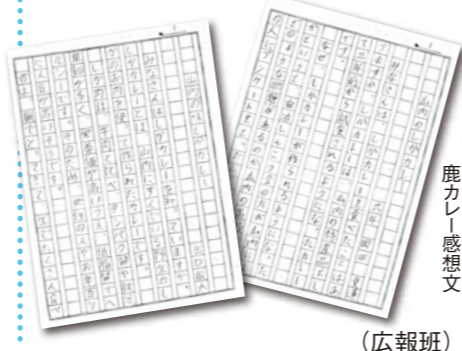
さらに、ライブ終了後には、出演メンバーと共に山内自治振興会による「鹿カレー」の試食会もあり、参加者全員心のこもった鹿カレー

をいただきました。初めて試食した方々からも「やわらかくて、とてもおいしい!」と感想をいただき、大好評でした。

「鹿カレー」提供あ・ち・そ・ち

昨年からいろんなイベントに「鹿カレー」を提供しています。今年も5月25日に山女原での棚田ボランティア委員会に提供しています。そんな取り組みに対し、ありがたい感想も寄せていただいています。

今後も皆さんに喜んで頂ける取り組みをしていきたいと思ひます。



山内小児童の鹿カレー感想文

(広報班)

ステツプアップ!4周年の自治振興会

グランドゴルフ大会、総合優勝は中之組

6月1日(日)に宮の下広場において、第9回山内学区民グランドゴルフ大会が開催されました。青空のもと約160名の参加者の方々が、交流を深めながら競技に汗を流されました。

競技のあとには、「ホールインワンゲーム」も行われ、小さなお子さんも一緒に楽しんでいただきました。

大会結果は以下の通りです。

40歳未満(優勝)山女原(準優勝)笹路
65歳未満(優勝)中之組(準優勝)川西
65歳以上(優勝)川西(準優勝)中之組
総合(優勝)中之組(準優勝)山女原



区長会長より中之組代表へトロフィーの贈呈

鹿料理研究会開催

7月13日(日)久し振りに鹿料理研究会を開催しました。



今回のテーマは「鹿コロッケ」の研究開発です。肉の割合、ジャガイモにかぼちゃをプラスするのか、炒め油は何を使用するのか、具の野菜は、肉の味付けは、かくし味は等々工夫を凝らし試行錯誤の結果、7種類のコロッケが出来上がりました。

メンバー一同で選考の結果、一番美味しいのは、やっぱり「鹿肉100%」のコロッケで、11月開催の文化祭でお披露目予定にて乞うご期待。

自治振興会 今後の予定

草取りボランティア募集

9月21日(日)
AM8:30~11:30(小雨決行)
集合場所/山内小学校運動場
作業内容/運動場の草取り

山内小学校は現在全校児童数33名、PTA会員23名と大変少なくなりました。広い校内全てに手が回りません。そこで学区民運動会前に山内小学校の環境整備のお手伝いをしたいと思います。心ある方のボランティアを募集しています。(雨天の場合は9月23日(祝)に延期します。)

※PTAの親子環境整備作業日は8月23日です。

《お問い合わせ先》

山内自治振興会 ☎050-5833-0379
山内地域市民センター ☎68-0001

岐阜県関市より先進地研修に

自治振興会の今年度中の設立を目指されている岐阜県関市より、自治会役員、市職員約30名が、7月31日に山内自治振興会を研修目的で訪問されます。

その日は昼食として鹿カレーを提供します。

●9月28日(日) 学区民運動会
(雨天10月5日)

●10月12日(日) 山内敬老会

※昨年度とは開催日が異なります。

ふるさと資源活性化事業班

2年目のアロニア栽培

平成24年11月から始まったアロニア栽培は二回目の春を迎えました。

1年目は2割程度の樹にしか花が付きませんでした。今年は約8割の樹に花が咲きました。



花のつき方(数)は樹によって異なりますが、花の数は昨年と比べると格段の差があります。

樹高も植えた時は50から60cmほどでしたが、現在は1mから1.2mと倍ほどに成長しています。

ただ獣害柵の中の栽培地でも、網で囲って対策をしている栽培地

でも一部に新芽を鹿に食べられている樹があります。



花は5月中には実となりました。一房にいくつもの実をつけています。房の数は昨年の5倍ほどの約300房が確認できています。



害虫の影響ですが、今年もやはり葉の異常がありますし、カナブ



ンが葉を痛めていることも確認されています。

今後、実が熟していくと鳥の害も考えられることから、対策を講じて管理し、より多くの実が収穫できることを目指します。

収穫した実については、今年もアントシアニンやポリフェノールについては成分分析を行い昨年の結果との比較を行い、来年度以降もデータの推移を見ていきます。

実の利活用については、収穫量にもよりますがアロニア酒やジャムなどの加工品の試作に取り組み、秋には山内地域の人に苗木の斡旋を行い、植え付け指導を行い栽培の輪を広げていきたいと思ひます。

(ふるさと資源活性化事業班 林口)